

ローズマインドに出会う旅～ばらの聖地をめざして～

ガーデンツーリズム登録制度
令和 6 年度登録計画事業実施報告



ばらのまち福山 ガーデンツーリズム協議会
令和 7 年 3 月

○具体的な事業実施状況

1) 事業名：活動拠点機能の充実

(1) 事業概要

観光客や旅行会社からの問い合わせに対し、円滑かつ専門的にワンストップで対応する体制を整えるため、「ガーデンツーリズムセンター」を開設した。

(2) 実施概要

下記のとおり、ガーデンツーリズムセンターを開設し、運用を開始した。

実施時期：2024年10月1日（火）～

営業時間：月～金曜日 10:00～16:00

対応方法：電話、メール及び対面

委託会社：ニコニコ観光株式会社

場所：広島県福山市南本庄3丁目5-24（ニコニコ観光株式会社内）

(3) 問い合わせ実績

1. 2024年10月1日～2025年3月31日までの間に、延べ35件の問い合わせがあった。

ガーデン全般に関する問い合わせ：16件

ガーデン予約に関する問い合わせ：7件

全般的な予約に関する問い合わせ：4件

パンフレット送付やキャンセル、資料希望などのその他の問い合わせ：5件

その他のカテゴリ（ガイド、アクセス、事業内容など）：3件

2. 地域別内訳（上位のみ抜粋）

福山市：21件

岡山県：5件

その他：佐賀県、広島市、福岡県、九州、神奈川県、岩手県、新潟県など

3. 属性別内訳

個人（女性）：26件

個人（男性）：3件

団体：3件

旅行会社：3件

問い合わせ件数としては決して多いとは言えないものの、電話で気軽に相談できる窓口があることは、個人のお客様や旅行会社にとって安心感につながり、ガーデンツーリズムをより身近に感じてもらうきっかけとなっていると考えられる。旅行の計画段階における不安や疑問に直接対応できる体制を整えておくことは、今後のリピーター獲得や満足度の向上にもつながる重要な取組であるといえる。利用者の声を今後の運営に活かしながら、より使いやすい窓口へと改良を重ね、継続していく。

2) 事業名：情報発信

（1）事業概要

ガーデンツーリズムの魅力をより多くの人に知ってもらうことを目的に、市内外に向けて効果的な認知拡大を図る情報発信を行った。各種媒体を活用し、ターゲットに応じた内容で情報を発信することで、ガーデンツーリズムの理解促進と参加意欲の喚起につなげた。

（2）実施概要

以下の各媒体を活用し、情報発信を行った。

1. 公式WEBサイトの開設

ガーデン情報やモデルコースの紹介など、情報発信の中心的な役割を担う。

随時コンテンツを更新し、ガーデンツーリズムの入口として機能させている。



▲公式WEBサイトトップページ

2. リーフレットの制作

構成庭園のほか、個人や企業、地域が手がけるガーデンなど全19か所を紹介したリーフレットを作成。モデルコースやタクシープラン、庭主や地域の方々からのコメント、広域・拡大マップ等掲載し、ガーデンを巡り福山らしいおもてなしに出会う「ローズマインドに出会う旅」がイメージできる構成とした。

制作部数：日本語30,000部 英語10,000部

配布場所：市内観光案内所、ホテル、観光施設など

ガーデン一覧 (表面)



広域・拡大マップ（裏面）



モデルコース紹介（表面）



ツーリズムセンター紹介（裏面）



3. メディア等への掲載

旅行情報誌『るるぶ』『まっふる』への広告掲載を行い、全国の旅行者に向けて広く周知を図った。

また、広島県観光連盟のWEBサイトDIVE！HIROSHIMAや福山市の公式SNSでも情報を発信し、自治体・関係団体と連携した広域的なPRにも取り組んだ。



▲『るるぶ』『まっふる』掲載イメージ



▲DIVE！HIROSHIMA掲載イメージ

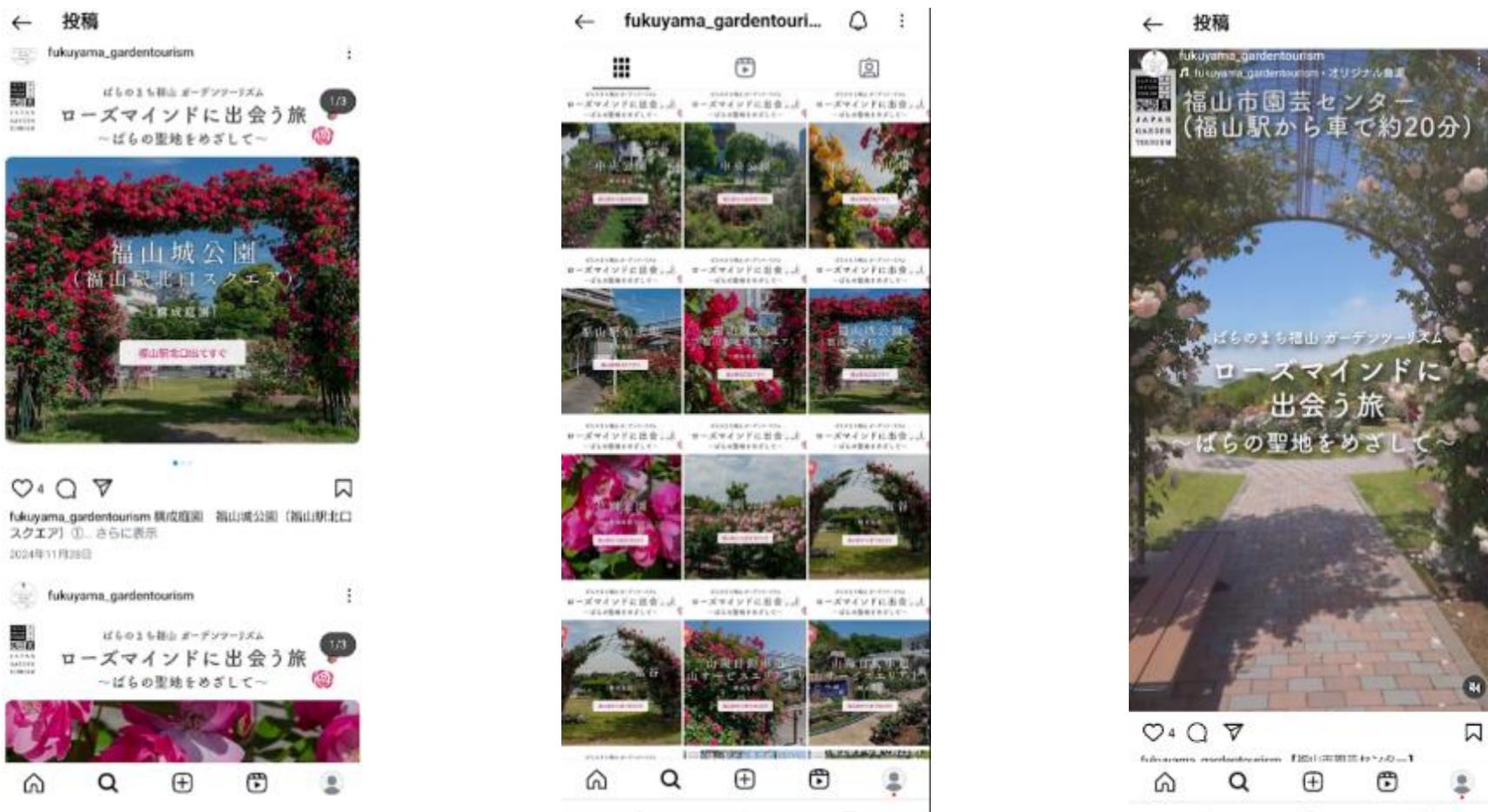


▲福山市公式LINE配信イメージ

4. 公式Instagram

ガーデンツーリズムの強みである“映える”風景写真や動画を活かし、視覚的な魅力をダイレクトに伝えられるInstagramを活用。

リール機能を用いたガーデン紹介や、ツアー参加者募集の投稿などを通じて、情報の拡散と参加意欲の向上を図った。



3) 事業名：認定ばらガイド養成事業

(1) 事業概要

ガーデンツーリズムにおいて欠かせない“ばら”の魅力を専門的に伝える人材として、市内外から希望者を公募し、「認定ばらガイド」養成講座を実施。

座学や現地訪問などを通じて学びを深め、最終的に28名の認定ガイドが誕生した。

また、鞆の浦や福山城の既存ガイド団体との交流会も開催し、地域観光の連携強化を図った。

今後は、ガーデンツーリズムの案内役として、訪問者と地域をつなぐ重要な存在となることが期待される。

(2) 実施概要

1. 養成講座（3回連続講座）の実施

〈第1回講座〉

実施日: 2024年9月19日（木） 時間: 16:00～ 会場: 福山市民参画センター

内容:

- ・福山市の観光戦略について
- ・ガイドの心得・大切にすべきこと
- ・ばらのまち福山の歴史について

参加人数：24名



〈第2回講座〉

実施日: 2024年9月28日（土） 時間: 9:30～ 会場: ばら公園・緑町公園

内容:

- ・ばら公園の歴史と成り立ちについて
- ・ばら公園の見どころ
- ・緑町公園の見どころ

参加人数：23名



〈第3回講座〉

実施日: 2024年9月29日（日） 時間: 13:00～

訪問場所: 福山市園芸センター、福山SA上り線、
ガーデン富谷、ローズガーデン江草、
ホロコースト記念館

参加人数：23名



- ・2回以上に参加した方を認定ガイドとして認定。最終的に28名の認定ばらガイドが誕生した。
- ・愛称を「ローズマインドクラブ」と決定。

〈第3回講座〉

実施日: 2024年9月29日 (日) 時間: 13:00~

訪問場所: 福山市園芸センター、福山SA上り線、
ガーデン富谷、ローズガーデン江草、
ホロコースト記念館

参加人数: 23名

- ・2回以上に参加した方を認定ガイドとして認定。最終的に28名の認定ばらガイドが誕生した。
- ・愛称を「ローズマインドクラブ」と決定。

2.台本作成

養成講座を修了した参加者から「知識は得たものの、実際のガイドとなると不安がある」との声が寄せられたことを受け、未経験の方でも一定の水準でガイドができるよう、台本を作成。この台本は丸暗記を目的とするものではなく、基本の流れや要点を押さえるための支援ツールであり、ガイド自身の得意な話題や経験を加えることで、それぞれの個性を活かしたガイドへ発展できる構成としている。

今後も、ガイドの質の向上と自信につながるサポートとして活用していく。

3. ガイド交流会、練習会

〈練習会〉

実施日: 2024年10月29日 (火)

時間: 10:00~13:00 会場: 緑町公園、ばら公園

参加人数: 15名

グループに分かれてのガイド役・お客様役のロールプレイを通じて、本番を想定した実践的な練習とガイド同士の交流が深まる機会となった。



〈福山市内の他ガイド団体との交流会〉

実施日: 2024年12月4日 (水) 時間: 13:30~

参加団体: 鞆の浦しお待ちガイド会、福山城博物館友の会、神町観光協会、新市町観光協会、熊野町歴史ふるさとガイド会、明王院を愛する会、平家谷おばちゃんガイド、ローズマインドクラブ

〈ローズマインドクラブ交流会〉

実施日: 2025年3月12日 (水) 時間: 13:30~16:00 会場: 市民参画センター

モニターツアーのアンケートや体験談の共有を通じて、ガイドの具体的なイメージが持てるようになり、不安の解消や意欲向上につながった。また、グループ交流により参加者同士のつながりも深まった。



4) 事業名：モニターツアー事業

(1) 事業概要

関西発・関東発・福山市内発の3ルートでモニターツアーを実施し、合計115名が参加。

このツアーは、認定ばらガイドにとって初めての実地でのガイド実践の場ともなり、実務経験を積む貴重な機会となった。行程は、限られた時間の中で効率よく複数のガーデンを巡ることができるように構成し、地元食材を使った食事を取り入れることで、福山の魅力をより深く感じてもらえる内容とした。

(2) 実施概要

以下の内容で、モニターツアーを実施した。

出発日	出発地	期間	主催会社 バス会社	行程	人数
11/2 (土)	福山	日帰り	ニコニコ観光 ニコニコ観光	福山駅（9:30発）－ばら公園・花園公園・緑町公園（9:45～11:45）－昼食（12:00～12:50）【川長】－ホロコースト記念館（13:30～14:30）ローズガーデン江草（14:50～15:30）－マチモト薔薇農園（15:40～16:40）－福山駅（17:10頃着）	8
	東京	1泊2日	JTB（首都圏） せとうちバス	【1日目】11/1（金）マチモト 羽田空港（08:30発）広島空港－三景園－尾道国際ホテル（昼食）－尾道 千光寺山ロープウェイ－千光寺公園－マチモト（15:30～17:00）（食用バラのスムージーを試飲）－福山ニューキャッスルホテル（泊） 【2日目】11/2（土） ホテル（9:00）－ばら公園・緑町公園（9:10～10:40）－NIPPONIA HOTEL 竹原製塩町－たけはら町並み保存地区－広島空港羽田空港（18:00）着	26
11/3（日）	関西	日帰り	JTB（関西） 阪鉄道	福山駅（8:40着）－ばら公園・緑町公園（9:10～10:40）－世羅ワイナリー（ワイナリー見学と洋食ランチ）－世羅高原農場・花の森－マチモト（15:30～17:00）（体験食用バラスムージー作り、バラアイス、バラ茶と竹林の小径散歩、バラ商品バザール）－福山駅（18:30発）	28
11/4 (月・祝)	福山	日帰り	ニコニコ観光 ニコニコ観光	福山駅（9:30発）－ばら公園・花園公園・緑町公園（9:45～11:45）－昼食（12:15～13:00）【ホテル鷗風亭】－鞆の浦町歩き（13:10～14:45）【しおまちガイド同行】－おおもとウィメンズクリニック・上本テニススクール（15:00～16:30※2班に分かれて）－福山駅（17:00頃着）	27
11/4 (月・祝)	関西	日帰り	JTB（関西） ニコニコ観光	福山駅（8:40着）－ばら公園・緑町公園（9:10～10:40）－世羅ワイナリー（ワイナリー見学と洋食ランチ）－世羅高原農場・花の森－マチモト（15:30～17:00）（体験食用バラスムージー作り、バラアイス、バラ茶と竹林の小径散歩、バラ商品バザール）－福山駅（18:30発）	26

(3) アンケート評価まとめ

参加者からは、ツアー全体を通して「また参加したい」「5月に再訪したい」など前向きな声が多く寄せられ、ガーデンツーリズムの魅力発信に一定の成果が見られた。特に、ばら公園や市内ガーデンの景観、ばらに関する飲食体験などについて高評価が集まった。

◆ ポジティブな評価（主な意見）

- ・ばら公園のテーマ性や見せ方に工夫があり感心した・公園の手入れが行き届き、美しく整備されていた
- ・町全体でばらを大切にしている雰囲気が伝わった・個人宅のガーデンも工夫されていて参考になった
- ・高台からの眺望や景観が素晴らしかった・ばらを使ったお茶やスムージーが美味しかった
- ・昼食の内容が充実していて満足度が高かった・マチモト農園のアットホームな雰囲気が好印象だった
- ・ばらの飲食や文化について新たな学びがあった・また訪れたいと思った

◆ 改善が求められた点と対応策

- ・声の聞こえやすさ：ガイドの声が聞き取りづらい→大人数用マイクスピーカー導入を検討
- ・説明のわかりやすさ：情報量が多く聞きづらい→内容を整理し、ポイントを絞った話し方へ
- ・自由時間の不足：ばら観賞や撮影の時間が少なかった→15～20分の自由時間確保を計画
- ・体力面の配慮：移動距離が長く疲労感あり→長距離移動には適宜休憩を挿入
- ・ガイドの時間管理：スケジュール把握に課題あり→時計携行や時間意識の強化を促す

今後はこれらの意見を踏まえ、より満足度の高いツアー構成とガイド育成につなげていく予定である。

5) 事業名：体験型ツアー（接ぎ木）事業

（1）事業概要

ばらの接ぎ木は1973年から市民講座として実施されており、「ばらのまち福山」を象徴する取り組みの一つである。

本事業では、こうした体験を提供することで、参加者が“ばらのまち”をより深く知り、ばらを愛する人同士が交流を楽しめる場を創出。ばらに関する体験や人とのふれあいを通して、福山の魅力を伝え、福山ファンの裾野を広げていくことを目的に実施した。



（2）実施概要

実施日: 2025年2月2日（日）

時間: 10:30～16:30

行程：福山駅南口～鞆の浦（琴演奏・町並み散策・昼食）～接ぎ木体験

参加人数: 19名（福山市13名、尾道市2名、倉敷市2名、岡山市2名）

〈ツアー構成の工夫〉

本ツアーでは、ばらの接ぎ木体験を中心としながらも、全国有数の琴の産地である福山らしさを活かした琴の生演奏鑑賞や、瀬戸内の旬の食材を使った昼食を組み合わせ、文化・食・体験が一体となった魅力あるツアー内容とした。



（3）アンケート評価まとめ

参加者からは、ばらの接ぎ木という貴重な体験ができたことに対する満足の声が多く寄せられた。初めての参加でも講師の丁寧な指導により「不安があったが安心して取り組めた」「うれしくて達成感があった」といったポジティブな意見が目立ち、体験を通じて“ばらを育てる苦労と楽しさ”を実感した参加者が多かった。また、鞆の浦での散策や対潮楼での琴の演奏、鯛づくしの昼食に関しても、「感動した」「丁寧でもてなされた」と高評価が寄せられ、体験と観光が一体となった行程に対する満足度が高かった。

◆ ポジティブな評価（主な意見）

- ・講師の丁寧な指導で安心して接ぎ木に取り組めた・初めてでもうまくできて達成感があった
- ・昼食（鯛料理）がとても美味しかった・対潮楼での琴の演奏と解説に感動した
- ・鞆の浦での散策が心地よく、ゆとりある行程だった・全体を通してとても楽しく、また参加したい

◆ 改善点・今後への要望

- ・接ぎ木は難易度が高く、初心者には理解しづらい部分があった
→ 内容の段階的な説明や補助資料の充実が求められる
- ・鞆の浦の観光時間が短く、「もう少しゆっくり見たかった」との声が複数あり
→ 今後は自由時間の確保や、福山市内の他地域観光も組み合わせた構成を検討
- ・ツアー参加者にばら祭りなど今後のイベントとの連携特典があれば、リピーターにつながるとの提案あり

全体として、「接ぎ木を通じてばらを身近に感じることができた」「観光と体験のバランスが良かった」との声が多く、ばら文化の魅力を体感してもらう場として有意義な取り組みとなった。今後は体験の難易度や観光時間の調整を行い、より満足度の高いツアー構成を目指す。

6) 事業名：ばら花壇コンクール

(1) 事業概要

福山明るいまちづくり協議会が年実施している「ばら花壇コンクール」において、新たに「ガーデンツーリズム部門」を設置。市内の魅力あるガーデンの発掘を目的とし、観光資源としての花壇や庭園の可能性を広げる試みとして実施した。

(2) 実施概要

開催日：2024年5月7日（火）～9日（木）の3日間

応募総数：84花壇（※重複応募あり）

- ・ばらのまちづくり部門：66花壇
- ・ばらの花部門：22花壇
- ・ガーデンツーリズム部門：24花壇

ガーデンツーリズム部門受賞結果（一部抜粋）

大賞（3花壇）：山陽自動車道サービスエリア上り線、Jardin des Roses、ガーデン富谷

優秀賞（6花壇）：能宗呉服店ばら花壇、ローズガーデン江草、アンネのバラ園、

戸手フレンズローズガーデン、uemoto TENNIS SCHOOL & ROSE GARDEN、
トライアングル広場ばら花壇

受賞した花壇は、構成庭園とともにガーデンツーリズム参加ガーデンとして公式WEBサイトやリーフレットに掲載し、地域の魅力発信に活用している。

7) 事業名：福山ばら祭

(1) 事業概要

福山ばら祭は、約50年にわたり市民に親しまれてきた福山市最大の祭であり、ばらを通じた交流と地域の魅力発信を目的に実施されている。市内外の多くの来場者が訪れ、世代や地域を超えてばらに親しむ機会となっている。

(2) 実施概要

開催日：2024年5月18日（土）・19日（日）

会場：緑町公園、ばら公園、花園公園、市内中心部商店街周辺、
福山駅北口スクエア、福山城公園、中央公園ほか

主な内容：パレード、ばらの展示、市民ステージ、ワークショップ、
物産・飲食ブース、子ども向け企画 など

2024年は延べ約48万7千人が来場し、前年（41万8千人）や一昨年（37万8千人）を大きく上回った。

ばら公園のリニューアル（後述）やガーデンツーリズムの展開を通じて市内ガーデンへの関心が高まり、ばら祭への来訪動機の一つとなったと考えられる。

こうした相乗効果により、ばらを軸とした地域全体での一体的な賑わいが生まれている。

○その他特筆すべき取組と成果

1) 事業名：ばら公園リニューアル整備事業

(1) 事業概要

ばら公園は、戦後間もない頃、公園付近の住民が約1,000本のばらを植えたことをきっかけに、ばらのまちづくりが始まったことから、本市におけるばらのまちづくりの発祥の地として知られている。毎年5月の福山ばら祭の会場となっているほか、広く市民へ開放された憩いの場として親しまれ、2006年には、世界バラ会連合優秀庭園賞を受賞するなど、国内でも有数のばら園である。しかしながら植栽されているばらは、HT（ハイブリット・ティー）などの限られた系統しかなく、園路も変化に乏しかったため、全体がやや単調な構成であった。また、近年では株の老木化が目立ってきたこともあり、2025年の世界バラ会議福山大会やガーデンツーリズムの推進に向けて、植栽デザインを全面的に見直したうえで、リニューアル整備を行った。

(2) 実施概要

- ・2023年6月着工、2024年4月完成、リニューアルオープン
- ・本数・品種の大幅増
約280種・5,500本 ⇒ 約670種・7,000本
- ・ばらを近くで見て感じることができる散策路（細園路）の設置
- ・立体感を演出する大アーチ（19基）と
スタンダードローズによる大回廊と小アーチ（42基）の設置
- ・カラフルな色彩のばらのストライプガーデン
- ・テーマガーデンの設置
(平和のばら、皇室ゆかりのばら、世界バラ会連合殿堂入りのばら、
イングリッシュローズ、オールドローズなど)
- ・ばらを際立たせる宿根草の植栽
- ・ばらを美しく照らす夜間ライトアップ



○まとめ

（1）全体を通しての効果や成果

本事業では、情報発信・人材育成・体験・受入体制整備の各取組を連動させることで、「ばらのまち福山」の魅力を市内外に発信するとともに、地域の資源を活かした新たな観光価値の創出につなげることができた。

具体的には、今年度新たに立ち上げた公式WEBサイトやSNS等での情報発信により、ガーデンツーリズムの認知が徐々に広がり、モニターツアーや体験プログラムにも多くの参加が見られた。また、認定ばらガイドの育成や台本の整備により、質の高い案内体制の構築が進んだ。加えて、ばら花壇コンクールの新設部門や地域ガーデンの発掘を通じて、参加意欲の高いガーデンとのネットワーク形成が実現した。

アンケートでは、「また訪れたい」「家でもばらを育ててみたい」など、来訪意欲の向上や地域への愛着につながる声が多数寄せられた。市民やガイド、事業者との連携も深まり、ガーデンツーリズムを軸とした持続可能な地域観光の基盤づくりが着実に進んでいる。

（2）今後の取組

今年度実施したモニターツアーや体験プログラムの実績およびアンケート結果を踏まえ、来年度はツアーコースのさらなる充実を図る。具体的には、コース設定や時間配分の見直しに加え、剪定・植栽・香り体験・花摘みなど、ばらに関する多様な体験型プログラムの拡充を検討する。

また、認定ばらガイドの活動支援として、ユニフォームの制作、新規ガイドの募集、スキルアップ研修の実施を通じ、案内体制の質的向上を目指す。あわせて、無料ガイドツアーアイベントの開催により、より多くの市民や観光客にガーデンツーリズムへの関心を広げていく。

情報発信面では、Instagram等のSNSを活用したリアルタイムな情報提供を強化するとともに、登録ガーデンを示す専用プレートの制作・設置など、訪問者にとって分かりやすく興味を喚起する仕組みづくりも進めていく予定である。

このような取組を通じて、「ローズマインドに出会う旅」をさらに進化・深化させ、福山を単なる観光地ではなく、人々の心に残る“ばらの体験の場”として育てていく。市民と観光客がともにばらを育み、その想い=ローズマインドを共有しながら、「世界に誇るばらの聖地・福山」の実現に向け、着実に歩みを進めていきたい。